

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所

【現地駐在】TMB 銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)

HD 銀行(ベトナム・ホーチミン)、明倫国際法律事務所(ベトナム・ホーチミン)



【ベトナム駐在員】

ベトナムの日本料理店事情

1. はじめに

帝国データバンクの調査によると、2020 年は日本国内における飲食店の倒産件数が 736 件（1 月～11 月）と過去最多を記録しました。長引くコロナウイルスの影響は、日本だけでなく世界各国の外食産業に多大な影響を与えています。

一方、ベトナムはコロナ対策が奏功しており、飲食店の営業停止も 3 月末から僅か 2 週間程度で終わりました。現在ベトナムの飲食店は、通常通り夜遅くまで外食を楽しむお客さんで賑わっています。

ベトナム経済の中心であるホーチミン市は、韓国料理、中国料理、タイ料理、スペイン料理、フランス料理、イタリア料理等世界各国の名店の味を楽しむことができます。その中でも日本料理の人気はトップクラスで、その人気を裏付けるように、ベトナム全土の日本食レストランの店舗数は 2015 年：約 700 件、2017 年：約 1,000 件、2020 年：約 1,500 件と急激な増加を続けています。

今回はベトナムの外食産業、特に人気の高い日本料理店についてレポートします。

2. 外資系飲食店のベトナム進出における歴史

実は、日系を含む外資の飲食企業が単独（独立資本）でベトナムに進出可能となったのは、2015 年 1 月とつい最近です。2015 年は外食産業だけでなく、外国人の不動産投資が可能になるなど規制緩和が進んだ 1 年でした。

勿論、2015 年までも日本人が経営する飲食店は多かったのですが、多くが名義貸しと言われる手法で進出していました。名義貸しとはその名の通り、知人のベトナム人名義を借りて法人を設立する形態で、外資企業に課される規制がなく、低予算かつ早ければ僅か 1 ヶ月程度で法人を設立し店舗オープンが可能と、様々なメリットがあります。

しかし、登記上のオーナーがベトナム人のため、実際に出資を行う日本人に法的な権利が一切ありません。企業の乗っ取りや、金銭上のトラブルが絶えませんでした。

2015 年の規制緩和以降も名義貸しでの進出はありますが、現在では独資や地場企業との合併、FC（フランチャイズ）形態での法人設立が増えています。

3. 日系外食企業のベトナムへの進出状況

近年では大戸屋、吉野家、すき家、丸亀製麺、CoCo 壱番屋、一風堂、ペッパーフード、リンガーハット、牛角など、日本で多店舗展開する外食大手のベトナム進出が加速しており、ホーチミン市のような都市部の場合、日本と同様の食生活が可能です。

業態も以前はカレー、ラーメン、寿司を一緒に取り扱う総花的な居酒屋が多かったのですが、専門化が急速に進み、うどん、トンカツ、焼鳥、蕎麦、串カツ、牛丼、たこ焼き、もつ鍋、牛タン、うなぎ、天ぷら、しゃぶしゃぶ、焼肉など、ほぼ全ての日本料理専門店の進出しており、進出していない業態を探す方が難しくなっています。更にラーメンの種類においても醤油、味噌、豚骨、塩、つけ麺、家系、油そば、担々麺と店舗の専門化が進んでいます。

4. 日系外食企業のベトナムへの進出形態

前述の大手外食企業の大部分は、現地で既に飲食店を経営しているローカル企業に FC (フランチャイズ) 権を与えて、営業展開しています。大手企業は資金力があり、独資での店舗展開も勿論可能ですが、FC を選択するのは、ベトナムの商習慣への対応、味のローカル化、スタッフの管理、不動産権利関係の煩雑さの解消、役所対応、仕入先選定、プロモーションの容易さ、投資額の抑制等非常にメリットが多いからだと考えられます。

一方で、FC となるローカル企業側も、日本の有力外食企業の情報や、メニューの人気、トレンドを熟知しており、知名度がない企業とはパートナーや FC 契約に応じません。一般的な FC 契約とは違い、関係性は相互、対等に近いものと言えます。

大手企業だけでなく、個人事業主が 1 店舗のみ飲食店を開業するような場合でも、また名義貸しの場合は勿論、独資においてもベトナム人パートナーの存在は重要です。

ベトナムの飲食店経営で成功を目指す場合、日本と同じような経営方針で通用することは稀であるため、いかに信頼のおける日本食に精通したパートナー企業、ローカル人材を確保することができるかが重要なポイントと言えるでしょう。

5. 人気料理「寿司」

ベトナム人の平均年齢は 30 歳程度と若く、都市部の若者は様々な国の料理を食べることに抵抗がありません。その中でも日本料理が人気を博しているのは、所得水準の上昇、ベトナムから日本へ渡航する実習生や留学生、ビジネスマン、旅行者の増加など様々な要因が重なっています。筆者の友人であるベトナム人も、留学時代に吉野家でよく食事をしていたので、同社がベトナムに進出してきて嬉しいと言っていました。

また日本料理には、衛生管理がしっかりしている、食材が良い、健康的であるという良いイメージもあり、人気を後押ししています。

現在ベトナムでは様々なジャンルに細分化された多数の日本料理専門店が進出していますが、知名度、人気とも圧倒的な 1 位は寿司になります。ASIA Plus 社の調査においても、寿司の知名度（食べたことがある・知っている）は 72%で、2 位以下（2 位うどん 33%、3 位ラーメン 28%、4 位刺身 26%）に対して、2 倍以上という結果が出ています。

その人気を裏付けるように、高級店から路上屋台まで幅広い客層をターゲットにした寿司店が営業しています。ジェトロが 2014 年に行った調査によると、日本料理が人気の理由は味が良い、健康に配慮されている、洗練されている（高級感がある）という点なのですが、寿司はその要素が全て集約されているため、これだけの人気をベトナムで誇っているのだと考えられます。



※左写真：屋台寿司のデリバリー。中トロ 2 貫 50,000VND(約 250 円)とリーズナブル。

右写真：日系寿司店の日本から直送の穴子。1 貫 255,000VND(約 1,150 円)。【筆者撮影】

筆者が赴任した 3 年前、日本人経営の日本人向けの寿司店は、日本人が顧客の中心でした。しかし、現在はベトナム人顧客が上回りつつあります。

特に高級寿司店はコース料理で数千円～数万円と、日本とほぼ同等の価格設定ですが、ベトナム人富裕層で賑わっています。寿司ネタは日本から空輸された新鮮な天然物で、味も日本の高級店と遜色ありません。来店するベトナム人富裕層は産地から直送された旬な魚と、寿司本来の味、有名な日本酒を求めています。

準富裕層やホワイトカラーのアップー層が行く寿司店では、着物を着たスタッフ、和室を意識した内装が重要視されます。この層は寿司屋に寿司だけを求めている訳ではなく、刺身の盛り合わせや焼き魚、鍋、サラダ等と一緒に注文して、家族や恋人と食べます。寿司ネタも日本からの直送品だけでなく、ベトナムで水揚げされた魚や、ノルウェー産サーモン等も人気です。カリフォルニアロールと、甘いフルーツジュースという組み合わせを楽しむベトナム人も多くいます。

庶民に人気の路上屋台寿司は、価格が非常に安価で、醤油が現地の魚醤であるヌクナムであったり、醤油の中に唐辛子を入れたり、パクチーと一緒に食べたりと味がローカライズされています。

若年層の生食に対する抵抗感も減少傾向で、どのような所得層でも楽しめる寿司の人気は、今後もベトナムの都市部から地方へと拡大していくことが考えられます。

6. 終わりに

日本料理店は既に専門化が急速に進んでおり、業態の違いのみで勝負することは非常に難しくなっています。例えば丸亀製麺は、現地価格で、パクチーを乗せ放題にして、麺を柔らかめにする等ローカルライズした結果、ベトナムでも人気を博しています。

またベトナム人の健康志向は強く、これからベトナムに飲食業で進出する場合、安心、安全、衛生的という日本的な要素もより求められます。

場所の選定も非常に重要で、ホーチミンやハノイなどの大都市では日本料理店は飽和状態に近づいていますが、ハイフォン、ダナン、カントー等現在成長中の地方都市では、大手企業の進出も少なく、まだまだ勝負ができそうです。

パートナー、価格、味、メニューや立地だけでなく、SNSのプロモーション、ネット予約等 IT の活用、宅配等のサービスが日本より進んでいるローカル企業も多く、進出前の戦略策定がより重要になります。

しかしながら、日本料理店が増え続けているということは、日本の食材や日本酒の販路を拡大するチャンスがこれから更に拡大していくことを意味します。

山口フィナンシャルグループは、ベトナムを始めとする海外への事業参入を検討されているお客様のサポートを行っております。「商品を試しに売ってみたい・買ってみたい」「ベトナム進出を考えているが相談先が分からない」等考えていらっしゃるお客様は、まずお気軽にお取引店、または山口フィナンシャルグループ海外戦略部までお問い合わせください。

(ベトナム駐在員 中村 健太郎)

【参考文献】

・PR TIMES

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000207.000043465.html>

・Clisk

<https://www.clisk.com/column/asean-marketing/13762.html>

・ベトナム総合サイト VIETJO

<https://www.viet-jo.com/m/news/economy/151223035747.html>

<https://www.viet-jo.com/m/news/economy/170720224003.html>

<https://www.viet-jo.com/m/news/release/141017025403.html>

<https://www.virt-jo.com/m/news/statistics/140425013623.html>